

今月の 我がマチの 一番星☆



昨年 11 月に開催された明治神宮野球大会



阿部 智大君

夢の実現に向けて

「1月23日の決定までは北海道代表候補の一つです」

と言葉を選びながら語る阿部智大君。早来中学校から鶴川高校に進み野球部に所属して甲子園出場を目指しています。

小学2年生で始めた少年野球ですが、当時指導した人は「元気がよく、肩が強く、ピッチャーで強打者でした」と回想。「ベースを踏み忘れて幻のホームランとなったことがありました」と懐かしそうにエピソードを話してくれました。

小学3年生の時に早来ジュニオールに入りスピードスケートにも取り組み、野球とスケートを両立してきました。小・中学校時代、野球では良い成績を残せませんでした。が、スピードスケートで全国中学男子3連覇に貢献。苫小牧市で開催された全国中学校スケート大会の500m種目

で自己記録を大幅に伸ばす38秒台を出し、男子総合優勝を不動のものにしました。進学は関係者の誘いにもかかわらず、阿部君の意志は野球の名門北海道鶴川高校。道内屈指の名監督の下で自分の力を試してみたいとの決意は揺るぎませんでした。

寮では70名近くの選手と集団生活。強靱な体力を持つ阿部君ですが、「練習はとても厳しい」と一言。「朝から晩まで食事以外はグラウンドでボールを追う日々です。今はウエイトトレーニングでパワーをつけています」と話します。子どものころから甲子

園を目指してきた阿部君は大学でも野球を志望し、スケートにも未練があるようですが、今年は大きな夢の実現に専念。「甲子園出場の朗報を待ちながら毎日練習に励んでいます」と176cm、体重75kgの球児は全国制覇を胸に秘め謙虚に答えてくれました。

協力があってこそ成しえるもの

中村さんが旧早来町でスピードスケートの個人指導を始めたのは平成3年。男子1000m元日本記録保持者である小林正暢選手（安平町出身）の育成をきっかけに、今から11年ほど前「早来ジュニオールSS」を創団しました。

平成15年、「必ずやれる」と確信して臨んだ全国中学スケート大会で初制覇を果たしました。「たくさんの方々の応援や支援に応えることができ、色々な意味を含めて恩返しが出来た」と感じたそうです。その後、男子3連覇達成、去年は女子を初制覇へと導きました。今年は男女ともに制覇できる可能性があるそうで、「みんなには日本一と言われる高速リンク（長野市エムウェーブ）で自分の力をすべて出し切れるレースをしてほしい」と想いを語っていました。

『努力に勝る天才はなし。努力する天才になれ！』

中村さんは恩師からこう言われ続けました。

「努力をしてこそ結果が生まれる。ただ、チャンピオンスポーツの世界は厳しい。1番にならないと意味がない。結果が評価される世界なんです」と自身が競技者だった頃を振り返り、「今は橋本聖子さんに次ぐ選手を自分の手で育てることが一番の目標です。選手達とともに日々努力を重ねていきたい」と話していました。

春の選抜高校野球北海道代表校の1校に選出された鶴川高校野球部所属の阿部智大君は、中村さんのかつての教え子です。「彼の底知れないパワーと想像できないパフォーマンスには驚かされました。全国中学で表彰台に上ったことは今も鮮明に覚えています。甲子園に出場出来たときにもそのパワーを大いに発揮して欲しい」とエールを送っていました。



中村卓也さん



レース後の選手を指導